

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり
---------	-----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	河川課長 田中 悟	電話番号	0852-22-5195
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	河川・海岸計画
目的	(1) 対象 河川流域や海岸沿岸域の居住者及び一般県民 (2) 意図 河川・海岸の工事や維持を行う上での具体的な整備の目標や手法を明らかにする。
事業概要	一級河川の指定区間及び二級河川のうち、事業実施を計画している、あるいは実施中の河川について、流域の具体的な整備目標や維持管理に関する事項を定めた「河川整備基本方針」、「河川整備計画」を策定する。 また、防護・環境・利用の調和した海岸の保全に関する基本的な方針を明らかにするとともに、地域の意向等を反映させるため、「海岸保全基本計画」を策定する。

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 河川整備実施中等の主要河川の河川整備基本方針、河川整備計画及び海岸保全基本計画策定数（平成27年度からの累計）	目標値		4.0	6.0	10.0	13.0	箇所
	式・定義 河川整備実施中等の主要河川の河川整備基本方針、河川整備計画及び海岸保全基本計画策定数（平成27年度からの累計）	実績値						
		達成率	—	—	—	—	—	
2	指標名	目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	—	—	—	—	—	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	30,516	71,706
うち一般財源 (千円)	30,516	71,706

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

①流域の社会情勢の変化、②地域の意向、③河川整備の進捗状況の見直し、④近年災害、⑤長寿命対策等々にて「河川整備基本方針」「河川整備計画」の新規策定及び変更の必要性が生じている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・静岡川基本方針の申請を行い、次年度以降の整備計画策定に向けての準備はできた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 河川整備基本方針が未策定の水系が54、河川整備計画未策定の水系（流域）が68ある。
 - 継続事業がある河川の整備計画は策定済みだが、長寿命化計画関連、災害復旧改良事業関連等、優先度を定め、策定していく必要がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 河川整備基本方針及び河川整備計画の策定においては環境調査に加えて河道計画等の検討も必要であり、策定に期間を要する。また、策定に要するコストも大きい。
- ③原因を解消するための「課題」
- 策定作業の効率化、迅速化、コストの削減。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・手続きの短縮化、低コスト化、特に小流域の2級河川における手続きの簡略化といった「制度改正」などを他県とも連携して国に働きかける。

9. 追加評価（任意記載）

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。